

平成二十六年十月吉日

家庭に関する学科等卒業者の入学者選抜についての要望書

全国高等学校長協会家庭部会
理事長 深谷敬子
同 進路調査研究委員会
委員長 田中正之

近年、高等学校は生徒の個性、興味・関心に応じた教育を行うことが求められており、家庭に関する学科等においては、体験的な学習を重視し、実践力に富み、創造性豊かな人材の育成に努めております。その中で、多くの生徒が、専門性をさらに深めるため、大学の関連学部・学科への進学を希望しております。

しかしながら、現行の各大学の入学者選抜においては、家庭に関する学科等に学んだ生徒の取組等の成果に対する評価が十分ではなく、その改善を強く要望しているところでもあります。

「職業教育の活性化方策に関する調査研究会議」の最終報告においても専門高校の卒業者を対象とした推薦入学の拡大、専門高校卒業者のための特別選抜の導入、高校時代に取得した資格、検定試験の重視、入試科目での専門科目の出題等が提示されました。また、「理科教育及び産業教育審議会答申」今後の専門高校における教育の在り方等についてで示された六つの視点のうち、生徒が専門高校卒業後に学習する継続教育機関との関連については、高等学校と大学等が、それぞれの特色に基づきながら十分に連携を図り、全体として整合性のとれた教育を行うことが重要であることが示されました。

つきましては、文部科学省による大学入学者選抜実施要項の改正に伴い、貴大学関係学部の入学者選抜実施に向け左記の事項について特段のご高配を賜りますよう、全国高等学校長協会家庭部会の総意によってお願い申し上げます。

記

- 一 家庭に関する学科等の卒業者が大学等に進学し、その専門性をさらに深めることができるよう、家庭に関する学科の卒業者を対象とした推薦入学枠の設置、又は一層の拡充をお願いしたい。
- 二 家庭に関する学科等の卒業者を対象とした特別選抜の導入、又は一層の拡充をお願いしたい。
- 三 家庭に関する学科等の教科・科目の成績、学校家庭クラブ活動、インターシップ等の学習成果及び当校長協会・家庭科教育振興会で実施している「文部科学省後援・被服製作技術検定」、「文部科学省後援・食物調理技術検定」、「文部科学省後援・保育技術検定」の合格者等に対する評価を重視されますよう特段のご配慮をお願いしたい。

四 専門教科としての家庭科の科目を入試科目に加えるなどのご配慮をお願いしたい。

本年度、以上の四項目につきまして重点事項として要望いたします。